

上田市立産婦人科病院のあり方に対する取り組みについて

1 地域の周産期医療提供体制の現状

当地域の周産期医療提供体制は、信州上田医療センターの2次医療受け入れ態勢が整ったことから、地域の公立・民間クリニック含めた4施設により、地域のお産を地域内で完結できる体制となっている。

2 公立病院の状況

市立産婦人科病院を取り巻く状況は、少子化や医師不足などによる医療提供体制の安定的な確保が困難なことや業務量の減少により、近年は大幅な損失を計上するなど、経営が悪化している状況にある。

3 公立病院あり方検討への取り組み

産婦人科病院新改革プランにおいて、経営形態の見直しへの検討を状況に応じて研究していくこととしていることや、上田市議会から「地域の周産期医療体制を維持していくための公立病院の果たすべき役割、経営のあり方について研究すること」として付帯意見が附されたことを踏まえ、市立産婦人科病院運営審議会に対し、市長より公立病院のあり方について諮問を行った。

4 公立病院のあり方に対する審議の経過について

市立産婦人科病院運営審議会では答申の策定に向けて以下のとおり審議を進めている。

(1) 市立産婦人科病院運営審議会による審議

令和2年10月6日 市長よりあり方について諮問

答申に向けて、地域の実情とニーズを把握するための有識者等による専門研究会を設置し協議を進めている。

(2) 地域周産期医療あり方研究会の設置

地域の周産期医療の実情や利用者のニーズなど有識者や子育て世代を代表する方からの意見を集約することを目的として設置し意見集約を行っている。

5 今後の日程

産婦人科病院運営審議会からの答申を受けた後、上田市として公立病院の将来のあり方への方針調整着手（令和3年度予定）